

3年音楽選択者(音楽Ⅲ)：牛久ばやしに挑戦

2020.09.18「3年音楽選択者(音楽Ⅲ)：牛久ばやしに挑戦」

9月18日(金)4時間目の3年生選択科目音楽Ⅲで、音楽室において大岩教頭が講師となり「牛久ばやし」を練習しました。牛久ばやしは、本校が立地している市原市牛久で江戸時代末期ごろから牛久の上宿(上町)・中宿(仲町)・下宿(下町)地区に伝承されている「お囃子」です。牛久ばやしは、牛久の八坂神社の祭礼日(7月20日前後の金・土曜日)に、牛久の中心街を上宿・中宿・下宿の計3台の屋台が練り歩き、屋台の上で演奏されます。本校の大岩教頭は、牛久中宿の出身で、幼い頃から現在にいたるまで祭礼に参加しており、現在では笛の吹き手として参加しているそうです。

生徒たちは、大岩教頭から牛久ばやし「さんびやく」の小太鼓の演奏方法を譜面から学び、実際に小太鼓(牛久上宿から借用)をたたきながら学んでいます。

また、生徒たちが自宅でも練習できるようにと、音楽の尾崎教諭と大岩教頭合作の動画がホームページ上にアップされています。



大岩教頭による授業の様子



牛久ばやし「さんびやく」(3年音楽選択・音楽Ⅲ)

三町の小太鼓のたたき方の違いに注目

2020.09.24「3年音楽選択者(音楽Ⅲ)：牛久ばやしに挑戦2」

9月24日(木)2限目の3年生選択科目音楽Ⅲで、音楽室において前回に引き続き大岩教頭が講師となり、「牛久ばやし」の練習を行いました。授業の導入部分で、上町・中町・下町の境界線について、山車について、牛久ばやしの練習の様子などについて説明がありました。次に、前回の復習をかねて、牛久ばやし「さんびやく」を最初から最後までたたいてみました。そして、発展学習として、大岩教頭と英語科白井教諭の笛に合わせて、生徒たちはバチを使いたたきました。



境界線についての説明



山車についての説明



古タイヤをたたいての練習



復習練習時の様子



笛に合わせての練習

